※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ３０１４ |
|---|---|

令和８年度　工業科（都市住宅系　インフラ専科）

| 教科 | 工業科 | 科目 | 衛生･防災設備 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「衛生･防災設備」文部科学省 | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

排水設備や防災設備において、「実習」や「製図」、「設備計画」、「空気調和設備」との関連を考慮した内容となっています。これらの科目との関連を図り、様々な知識を確実に身につけてください。

2　学習の到達目標

衛生･防災設備に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。（水資源を利用した各種建築物の給水･排水に関する基礎的な知識･技術の習得）。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技術 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 衛生･防災設備の各分野に関する基礎的･基本的な知識と技術を身につけ、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現することができる。 | 衛生･防災設備に関する諸問題の解決を目指して広い視野から自ら考え、基礎的･基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。 | 衛生･防災設備に関する諸問題について関心を持ち、その改善･向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身につけている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 給水や給湯に関わる設備 | ・水資源と上水道<br>・給水や給湯に関わる機器と構成<br>・給水や給湯に関わる設備と設計 | a: 給水や給湯に関わる設備に関わるさまざまな事象やそれに関わる問題点を把握して分析し，習得した知識や技術などを活用し、計画することができる。<br>b: 給水や給湯に関わる設備について理解し、排水・再利用の手法を考察することができる。<br>c: 給水や給湯に関わる設備に関わる基礎的な知識や技術に関心を持ち、その習得に意欲がある。 | 定期考査<br>確認テスト<br>課題プリント | 定期考査<br>確認テスト<br>課題プリント | 観察<br>課題プリント<br>提出ノート<br>振返りシート |
| 2学期 | 排水や通気に関わる設備 | ・排水と下水道<br>・排水や通気に関わる設備と<br>・住宅における排水設備設計 | a: 排水や通気に関わる設備に関わるさまざまな事象やそれに関わる問題点を把握して分析し，習得した知識や技術などを活用し、計画することができる。<br>b: 排水や通気に関わる設備について理解し、火災の種類や消火の手法を考察することができる。<br>c: 排水や通気に関わる設備に関わる基礎的な知識や技術に関心を持ち、その習得に意欲がある。 | 定期考査<br>確認テスト<br>課題プリント<br>グループワーク | 定期考査<br>確認テスト<br>課題プリント<br>グループワーク | 観察<br>課題プリント<br>提出ノート<br>発表<br>振返りシート |
| 3学期 | 排水や通気に関わる設備 | ・住宅における排水設備設計 | a: 排水や通気に関わる設備に関わるさまざまな事象やそれに関わる問題点を把握して分析し，習得した知識や技術などを活用し、計画することができる。<br>b: 排水や通気に関わる設備について理解し、各工事の手法を考察することができる。<br>c: 排水や通気に関わる設備に関わる基礎的な知識や技術に関心を持ち、その習得に意欲がある。 | 定期考査<br>確認テスト<br>課題プリント<br>グループワーク | 定期考査<br>確認テスト<br>課題プリント<br>グループワーク | 観察<br>課題プリント<br>提出ノート<br>発表<br>振返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度